

2026年5月1日

各位

会社名 アルインコ株式会社
代表者名 代表取締役社長
兼 社長執行役員 小林 宣夫
(コード番号 5933 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員 経理本部長
鶴山 伸治
(電話番号 06-7636-2222)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2026年5月1日開催の取締役会において、2024年4月に公表いたしました2025年3月期(第55期)から2027年3月期(第57期)までの3カ年を実行期間とする「中期経営計画2027」について、最近の事業環境及び当社グループの業況を踏まえて数値目標を見直すことを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 「中期経営計画2027」の経営数値目標(連結)

単位:百万円

	当初計画	見直し後
	2027年3月期	2027年3月期
売上高	68,000	65,200
経常利益	5,000	3,200
経常利益率	7.0%以上	4.9%
ROE	9.0%以上	6.4%

2. 数値目標見直しの理由

当社グループは、「中期経営計画2027」において、2023年3月に東京証券取引所が公表した「資本コストや株価を意識した経営」についての要請をふまえ、中長期の飛躍を図るべく、

Point1: コア事業の進化と事業ポートフォリオの再構築

Point2: 資本コストや株価を意識した経営の実現

Point3: 連結配当性向目標40%に加え累進配当を実施

をポイントとした取り組みを実行してまいりました。

その結果、コア事業については「販売」と「レンタル」がともに連携して新型足場「アルバトロス」の採用ユーザーを着実に拡大しています。一方で、計画策定時には想定しえなかった地政学リスクの高まりや世界的な金融引き締めの中かで進んだ円安、資源・エネルギー価格の高騰は、住宅機器セグメントや電子機器セグメントの業績に大きな影響を及ぼしました。

加えて、最近の中東情勢の悪化によって、建設資材のサプライチェーンに混乱が生じており、建設計画の見直しや遅延が懸念される状況です。

これらの状況を総合的に勘案した結果、「中期経営計画2027」の数値目標を見直すことといたしました。なお、Point3に掲げました配当政策については変更ございません。

見直し後の数値は、本日発表の決算短信において計画最終年度となる2027年3月期の業績予想と一致しております。

以上